

平成22年度 第1回理事会

日 時：平成22年6月4日 場 所：日本医療福祉専門学校 8F

出席者：(敬称略)

稲垣 毅 (海南病院)、向 文緒 (中部大学)、岩丸 陽彦 (刈谷豊田総合病院)、
新美 修治 (かなめ病院)、佐藤 嘉晃 (名古屋医専)、澤田 泰洋 (中部大学)、
佐久間 大輔 (あさい病院)、田口 真司 (日本医療福祉専門学校)：(以上理事)
山中 武彦 (日本福祉大学)、水口 和代 (愛知医療学院短期大学)、
今別府 学 (八事病院)：(以上委員長)
竹田 徳則 (星城大学)：(東海北陸学会 学会長)
中村 美穂 (刈谷豊田総合病院) (第19回 県学会 学会長)

各部局、委員長の決定 (敬称略)

広報部：前任 稲垣 → 次回以降理事、委員の推薦を募る

学術部：前任 山中 → 山中

教育部：前任 水口 → 水口

【共通研修委員長 前任：美和 (名大) → 富山 (星城)】

財務部：前任 岩丸 → 岩丸

保険部：前任 名古 → 佐久間

福利部：前任 加藤 → 加藤氏 (代理 堀部氏) に確認し次回以降で承認

事務局：前任 田口 → 田口

作業療法推進事業委員会：前任 新美 → 新美

規約委員会：前任 向 → 次回以降理事、委員の推薦を募る

表彰選考委員会：前任 向 → 向

法人化準備委員会：前任 澤 → 次回以降理事、委員の推薦

機関紙編集委員会：前任 山下 → 今別府

選挙管理委員会：前任 瀧瀬 → 井出 (委員長) +1名 (委員) 次回以降理事、委員の推薦

都道府県連絡協議会担当：前任 稲垣 → 稲垣

報告事項

会 長：

1. 今年度は、少しでも多くの方に県士会活動にご参加頂き、ご理解ご協力を頂けるよう県士会活動を行いたい。
2. 第20回の学会長として 江南厚生病院 吉田 慎一先生に内諾を頂いた。

副会長：なし

事務局：

1. 4/29 (火, 祝) OT協会から依頼のあった、ドリコム主催の進学相談会 (ウインクあいち) に日本作業療法協会員として、OT協会広報部員と共に日本作業療法士協会としてブース出展、相談業務を行った。約30名の学生父兄がブースを訪れ一人ひとりの質問に対応した。(事務局長)
2. 全国PTOT学校連絡協議会、東海地区ブロック研修会の後援依頼を例年通り承認した。
3. 議事録作成にあたり、報告用の資料を会議終了後3日以内にメールにて添付送信をお願いした

い。

4. 愛知県健康福祉部長より、医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進についての通知が文書であったため、HP にアップする。

広報部：

1. 6月1日 ニュースを発送した。
2. 6月中に県士会HP のリニューアルを行う

学術部：

1. 第1回の研修会を5月16日に 中村会長をお招きして実施した。参加者は50名程度
反省点としては、広報を周知徹底するという点に問題が残った。
2. 総会内で上がっていた、認知症短期集中加算についての勉強会などを検討する

教育部：特になし

財務部：

1. 総会内にて「予算と補正予算の変化が少ないまま決算に至り、余剰が見られる。補正の時期を見直すなどしてはどうか？」という意見が聞かれたため、補正時期の変更などを検討していきたいと考えている。
2. 予算立てについても、決算に準じた予算組を行い補正予算で予算を修正していただきたい。

保険部：特になし

福利部：特になし

作業療法推進事業委員会：

1. ウェルフェアの報告：

(別紙：ウェルフェアへのご協力ありがとうございました。

写真をブースに展示する装飾は多くの来場者の目を引いており、次年度以降も継続していきたいと考えている。次年度以降は、患者様の笑顔のみにテーマを絞らず、臨床の風景やセラピストの笑顔、養成校の実習風景も広く受け入れたい。

ワークショップへの参加者約120名の内訳として看護系の学生などが多くみられた。参加の動機などを確認すると、アクティビティーのネタ収集としている様子。作業療法を広報する視点から考えると一般の方の入場に重きを置きたいため、次年度以降は参加者に制限などをかける事も検討する)

(秋ごろを目標に次年度のウェルフェア部隊を結成し、次年度の企画準備も始めたい)

2. 高校生施設見学会の報告：

6月初旬に愛知県下の高校、施設(約500施設)宛に参加、受け入れを申し入れる文書を送付した。(海南病院事務局) 今年度の担当は日本医療福祉専門学校 田口

規約委員会：特になし

表彰選考委員会：

1. 第1回 委員会を6月中に実施予定
2. 愛知県より 精神医療功労賞の推薦依頼があった

選挙管理委員会：特になし

法人化準備委員会：特になし

都道府県連絡協議会：

1. 7月25日26日 OT協会との合同役職者研修会があり、稲垣会長が出席する
2. 6月10日に全国学会会場(仙台)にて都道府県連絡協議会の会議に稲垣会長が参加する

機関誌編集委員会：特になし

東海北陸学会 学会長：学会準備進捗状況の報告(別紙)

第19回県学会 学会長：学会準備進捗状況の報告（別紙追加[MSOffice1]）

検討事項

会長：第20回学会長として江南厚生病院の吉田 慎一先生を承認して頂きたい。 ⇒ 承認

副会長：特になし

事務局：議事録の公開にあたり、公開媒体をどうするか HP で良いか ⇒ 承認

議事録の承認方法について

事務局長より理事・委員長のメーリングリストを用いて議事録を配信し、各理事・委員より修正を加えた議事録をメーリングリストにて返信する。 ⇒ 承認

広報部：特になし

学術部：特になし

教育部：特になし

財務部：年度内に決算が終えられるよう、活動を進めて頂きたい。

保険部：委員4名[S2]の承認 ⇒ 承認

福利部：特になし

作業療法推進事業委員会：

1. 「あったか福祉フェスタ（名古屋学院大学地域連絡センター企画・運営）」7月10日 開催予定

ブース出展の依頼があった。参加の承認を頂きたい。 ⇒ 承認

2. 高校生施設見学会の担当を、現在の担当校である日本医療開科に伴い、県下各養成校に委託し輪番制としたい。

・各学校より委員を選出し、今後の施設見学会の進め方について検討してはどうか？（意見）

⇒ 新美委員長及び事務局長相談のうえ各養成校に電話をし、1名の担当者を選出頂けるかを確認する。確認の結果を次回理事会で報告する。

規約委員会：特になし

推薦委員会：

1. 東尾張病院 藤部先生 県立城山病院 徳井先生 の委員承認を頂きたい ⇒ 承認

選挙管理委員会：特になし

法人化準備委員会：特になし

都道府県連絡協議会：特になし

機関誌編集委員会：

1. 前年度までの機関誌編集委員の承認を頂きたい。（別紙） ⇒ 承認

2. 査読件数として、身体障害領域の件数が多い為、査読委員を1名増員したい。 ⇒ 保留

3. 査読委員増員に伴う人選について。 → 認定作業療法士から選出してみてもどうか（意見）
⇒ 意見を踏まえ委員で再度検討する事とする。

4. 県士会裁量ポイントの付与について、査読を行った実績に伴ってポイント付与をしてよいか。
⇒ 任を受けた時点で、査読を受ける準備をしている。よってポイントは全員に付与する。

5. 査読委員の継続を承認していただきたい。（別紙） ⇒ 保留

⇒ 昨年度実績として査読対象論文の領域に偏りがあり、査読実績0の査読委員が4～5名いる。よって、提出された論文の領域により委員の編成を変えてみてはどうか。（意見）

⇒ 早く承諾して頂いている方ばかりであれば、継続で良いのではないか。（意見）

⇒ 再度、機関誌編集委員会に持ち帰り、次回以降で検討内容を報告する

その他

会長：各委員長、部長は、担当委員を依頼する前に、名前をリストアップして必ず会長に会費納入

状況を確認してほしい。

次回理事会 平成22年7月下旬 頃